

医療技術学科新聞

2015年
12月号

臨床工学専攻講演会

12月12日(土)に医療技術学科臨床工学専攻の3年生を対象に特別講演があり、

『臨床実習と向き合う、臨床工学技術士の将来と向き合う』というテーマで大阪赤十字病院の下村太郎先生と

川崎医科大学付属病院の佐々木慎理先生の2名がご講演してくださいました。講演会では実際に臨床実習で行うこと、臨床実習に行く際の心構えや実習中に気を付けること、レポートの書き方や目的と目標の違い、「自分」を知ることに

てなど約2時間にわたりお話しくださいました。臨床実習の位置付け、臨床工学技術士の方々が実習生に求めているもの、この時期の勉強についてなどを知ることができ、とても良い勉強になりました。また、2名の先生方は本学の卒業生(2期生)という直属の先輩でもあり、今回の講演で臨床実習について、より一層刺激を受けることができました。臨床実習まであと半年

を切ったので、今から身を引き締めて復習・実習の準備を行い、3年間勉強し蓄えた知識や今回の講演で学んだことを臨床実習で活用できるようにしていきたいと思えます。(久行菜帆)

臨床実習を終えて

10月から11月にかけて救命学専攻の3年生が救急車同乗実習と病院実習を行いました。救急救命学専攻においては現在の3年生が1期生となるため、今年度が初めての臨床実習となりました。実際にどのような実習をさせていたのか、今回は紹介したいと思います。

まず救急車同乗実習です。2人1組のペアで東広島消防署または東広島消防署西分署で実習をさせていただきました。救急車内での仕事、現場での救急隊の動き、病院への引き継ぎや傷病者への接し方などを学びました。朝は申し送り等連絡事項を確認し、外に出て点呼及び消防体操をしそれぞれの業務に入っていきます。

(心肺停止)の患者さんが搬送されてこられ、実際に胸骨圧迫をした学生もいたようです。

私たちは主に救急係の方々にお世話になり、現場活動で使う資器材や救急車の点検を見学や、手伝える所は一緒に作業をさせていただきました。指令がかかるまでは消防車両・設備の説明を受けたり血圧を測る練習など訓練を行いました。現場での救急隊は主に3人1組で活動します。3人それぞれが傷病者やその家族の訴えを聞き、必要な処置を行いながら丁寧に対応していらっしやいました。

続いて病院実習です。1つの病院につき学生2人を実習に受け入れていただきました。この実習では病院により救急救命士が行うことは様々な為、実習内容は臨床実習施設における実習細目により決められています。救急外来での検査、処置、治療の見学や手術室における医行為の介助、医療従事者の連携や不潔清潔区域の区別などを学び見学させていただきました。実習生といえども実習中はその病院のスタッフと同じ扱になるので、中にはCPA

私たちが主には救急係の方々にお世話になり、現場活動で使う資器材や救急車の点検を見学や、手伝える所は一緒に作業をさせていただきました。指令がかかるまでは消防車両・設備の説明を受けたり血圧を測る練習など訓練を行いました。現場での救急隊は主に3人1組で活動します。3人それぞれが傷病者やその家族の訴えを聞き、必要な処置を行いながら丁寧に対応していらっしやいました。

世界エイズデー

12月1日(火)は世界AIDSデーです。これは、世界レベルでのAIDSの蔓延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消を目的に、WHO(世界保健機関)が制定したものです。毎年、世界各国でAIDSに関する啓発活動が行われています。本学では学生がAIDS啓発サポーターとなり、ActAgains t AIDS運営事務局が作成した啓発リーフレットを世界AIDSデー当日に大学構内で配布し、AIDSや性感染症について認知してもらおうという活動を行いました。啓発サポーターは事前学習を行い、若者がAIDSについて知識が乏しいことや、AIDSにおける感染と発症の違い、感染の防止方法などについて学びました。事前学習の他にも、クリスマスツリーに模した木に、「命を大切に」や「正しい知識」といった言葉を吊るして関心を持ってもらえるよう啓発活動に励みました。毎年本学では世界AIDSデーに啓発活動を行っています。今後もこの活動を続け、多くの方にAIDSや性感染症を知っていただきたいと思えます。(水國あゆみ)

12月1日(火)は世界AIDSデーです。これは、世界レベルでのAIDSの蔓延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消を目的に、WHO(世界保健機関)が制定したものです。毎年、世界各国でAIDSに関する啓発活動が行われています。本学では学生がAIDS啓発サポーターとなり、ActAgains t AIDS運営事務局が作成した啓発リーフレットを世界AIDSデー当日に大学構内で配布し、AIDSや性感染症について認知してもらおうという活動を行いました。啓発サポーターは事前学習を行い、若者がAIDSについて知識が乏しいことや、AIDSにおける感染と発症の違い、感染の防止方法などについて学びました。事前学習の他にも、クリスマスツリーに模した木に、「命を大切に」や「正しい知識」といった言葉を吊るして関心を持ってもらえるよう啓発活動に励みました。毎年本学では世界AIDSデーに啓発活動を行っています。今後もこの活動を続け、多くの方にAIDSや性感染症を知っていただきたいと思えます。(水國あゆみ)



(写真) AIDSデーのチラシ

今後の大学・学科の予定

- 1/1(金・祝)元旦
- 1/7(木)後期授業再開
- 1/11(月・祝)成人の日
- 1/14(木)月曜日の時間

割
1/15、16(金、土) 休講
1/16、17(土、日) 大学入試センター試験

作成者(医療技術学科クラス委員)

- 田中紀裕 (4年臨工)
- 真鍋 葵 (4年臨検)
- 比嘉千春 (3年臨工)
- 久行菜帆 (3年臨工)
- 青木麻友 (3年臨検)
- 今朝丸麻希 (3年臨検)
- 東原 諒 (3年救急)
- 宮地彩花 (3年救急)
- 水國あゆみ (2年臨工)
- 森元夏海 (2年臨工)
- 百合野真由 (2年臨工)
- 三澤英里子 (2年臨検)
- 宮内 彩 (2年臨検)
- 大畑泰斗 (2年救急)
- 竹中佑介 (1年臨工)
- 森山翔太 (1年臨工)
- 斧幸一郎 (1年臨検)
- 中澤歩美 (1年臨検)
- 田中芹奈 (1年救急)
- 西沙智圭 (1年救急)

担当教員

- 藤本 浩章
- 川中 洋平
- 徳毛 悠真

※年末による冬期休暇のため、今月号は少し早目に発行しています。